インスピレーションになろう

国際ロータリー第2740地区
長崎北東ロータリークラブ

2017～2018年
週報第12号
(通算2090号)
例会：平成30年10月3日

四つのテスト

言行は、これに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか


会長エレクト
草野 一夫

会長挨拶　久保田　和典

10月は米山月間です！

米山記念奨学会の命名の由来

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁(1946年没)の偉業を記念し、後世に残る様な有益な事業を立ち上げたいとの気持ちで、1952年、東京ロータリークラブが、『海外からの優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業…米山基金』を立ち上げました。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい！という当時のロータリアン達の強い願いがあったのです。

ロータリー米山記念奨学事業とは？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

事業の使命

将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す"平和と国際理解の推進"そのものです。

平和への"人づくり"－あなたも支援者の一人です－

東京ロータリークラブ単独の事業として始まった米山記念奨学事業は、わずか５年で日本全国の共同事業へと発展し、「米山基金」から１５年後の１９６７年には(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。この事業は日本全地区によるロータリーの他地区合同活動であり、皆様からのご支援で成り立っています。

【幹事報告】


幹 事
田中 徳之

- 10月８日(月)祝日　長崎北東ロータリークラブ杯少年ソフトボール大会
  南公園 ８時30分ごろに集合
  ブルーのジャンパー着用
- 10月31日(水)は休会
- 11月15日(木)は、「寄席の会」 長与町老人福祉センター

今後の予定

- 10月10日(水)　卓話・ラグビー協会理事 企画委員長 太田伸二様
- 10月17日(水)　卓話・長崎市教育委員会 教育総務部 恐竜博物館準備室 中谷大輔様
- 10月24日(水)　イニシエーションスピーチ 南里敏洋会友

ニコニコBOX


ニコニコ発表
中村会友

久保田：本日は鬼塚さんの御紹介で卓話をお願いします。大日本印刷(株)の福地様、山中様、伊藤様 よろしくお願いします。又、先週 最後の新人研修を受けられた皆様お疲れ様でした。そして講師をつとめて頂きました猪股さん、気持ちの入った研修 誠にありがとうございました。今後も猪股節で御指導お願いいたします！！

田中(徳)：本日、大日本印刷 福地様、山中様、伊藤様 宜しくお願い致します。

大坪：今月もよろしくお願いします。

鬼塚：誕生日のお祝い ありがとうございます。本日の卓話、大日本印刷(株) 山中様 宜しくお願いします。

高木(潤)：楽しみにしていた長崎くんちでしたが、実家の稲かりで見に行けなくなりました。とても残念です！！ソフトボール大会も欠席となり申し訳ありません。

辻村：本日の卓話 宜しくお願い致します。

中村：ゴルフ同好会の皆様へ。10月16日にチサンカントリー森山にてコンペを開催します。多数の参加をお待ちしております。

西岡：朝夕めっきり涼しくなりました。カゼなどひかぬように気をつけて下さい。大日本印刷の皆様、本日はよろしくお願いします。

前田：お誕生日プレゼント ありがとうございます。別件、先週日曜日台風の中クラブ選手権、優勝しました。４回目のクラブチャンピオンです。

山口(孝)：作夜 銅座でずっこけて血だらけでさまよい ４針ぬうことになりました。皆さんも気をつけましょう！

小計：10名／¥24,000	累計：177名／¥384,000

10月にお祝いを迎えられる方

誕生日をお迎えになられた会友

本日のご来訪者

卓話 情報セキュリティ体制強化に向けて

株式会社にしけい 大日本印刷株式会社
情報イノベーション事業部
大日本印刷株式会社
福地 厚様、山中 翔太様、伊藤 良隆様

近年のサイバー攻撃

サイバー攻撃の変化

かつてのサイバー攻撃	現在のサイバー攻撃
愉快犯 腕試し	金銭目的 政治目的 軍事目的
個人による犯行	組織的犯行
攻撃されたらすぐに気付く	攻撃されても気付きにくい

米国映画会社へのサイバー攻撃は北朝鮮が関与？

- 2014年11月発生
- GOP（Guardians of Peace：平和の守護者）を名乗るハッカー集団がソニー・ピクチャーズ・エンタテインメントの社内ネットワークに侵入
- 企業秘密情報を含む内部データを盗み出し、コメディ映画「インタビュー」の公開中止の脅迫

- 社内システムに壊滅的な被害
- 4万7千人以上の個人情報流出
- SPE幹部の電子メール流出
- 未公開映画データの流出
- 映画「Interview」の公開中止
- Amy Pascal共同代表 辞任を発表
- 最終的なコストは120億円以上（Reuters記事）

2014年12月、FBIは、北朝鮮がソニーピクチャーズに対するサイバー攻撃に関与していたと断定

国家が一民間企業を攻撃？

クローズドネットワーク安全神話の崩壊

STUXNET - 史上初の"サイバー兵器"

- 2010年9月、イランの核施設がSTUXNETによって攻撃を受ける
- STUXNETは、シーメンスが開発した産業機械制御用ソフト「ステップ7」を標的にしたマルウェア
- STUXNETはステップ7を乗っ取り、ウランを濃縮する遠心分離機の回転数を操作
- イランの核施設は外部とネットワーク接続していないクローズドな環境 しかし、STUXNETはUSBメモリ経由で持ち込まれたとされている
- 目的はウランの精製率を下げて、原爆を不発弾にすることとされている

STUXNETを開発したのは、米国国家安全保障局（NSA）とイスラエルの情報機関であると報道されている

国家機関がマルウェアで核施設を攻撃？

サイバー空間は戦場

サイバー空間は、陸・海・空・宇宙に次ぐ第5の戦場

The 5th Domain

2011年7月米国防総省が宣言

企業にとっては、ミサイルが飛び交う中で物販や銀行業務を行っているのと同じ

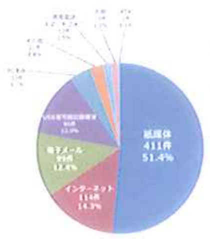
国際イベントは攻撃者にとっても魅力的

- 2012年のロンドン五輪では、公式サイトに2億回を超えるサイバー攻撃が発生
- **2020年の東京五輪では、さらに熾烈なサイバー攻撃が懸念されている**
- 狙われるのは五輪の公式サイトだけではない
- サプライチェーンの一番弱いところが狙われる（**"うちなんか狙われるわけない"は間違い**）
- 情報窃取ではなくシステムダウンを狙った攻撃にも注意が必要

サイバー攻撃に備えるだけでよいか

JNSA調査報告書より（1）

JNSA調査報告書より（2）



- 同調査によると、インターネット経由の情報漏えいより、紙媒体やUSB等可搬記録媒体経由の情報漏えいが、件数で勝っています。
- セキュリティ体制強化を図る際は、**プリンタや複合機からのプリント出力がどのように行われているか、紙の書類の保管や廃棄、郵送がどのように行われているか、USBメモリの利用がどのように行われているかなどにも目を向ける必要があります。**

他社で発生したインシデントに学ぶ

他社で発生した情報漏えいインシデントと同様のインシデントが、自社でも発生しないか、常に見直しが必要です。
情報漏えいの経緯や原因分析、再発防止策が発表されている場合は、これを参考にすることも効果的です。

インシデント	セキュリティ対策として不備があったと考えられる箇所
国内大手通信教育事業者	1 委託先の社員に特権ID（重要業務を行うID）が付与されていた。 2 重要な業務を委託先社員が単独で行えた。 3 端末のUSBアクセス制御がスマートフォンを認識し、データをコピーできる状態にあった。 4 重要な業務を行う職場に、私物のスマートフォンを持ち込めた。 5 ログは取得していたが、レビューがされていなかった。
日本年金機構	1 標的型攻撃に対する備えが十分でなかった。（未知のマルウェア対策、従業員教育・訓練等） 2 社内ルールが徹底されていなかった。（従業員教育、チェック機能、監査等） 3 インシデント対応計画が不十分だった。
米国大手小売業	1 委託先の教育や管理が十分でなかった。（委託先がフリーのアンチウィルスソフトを使用） 2 攻撃の兆しを検知していたにも関わらず、適切な対応が出来なかった。

情報セキュリティは経営課題

サイバー攻撃、内部犯行等によるダメージ

事業が継続できない	ビジネスモデル転換
業績の低下	株価下落
信用失墜	経営陣の引責辞任

- どれひとつ取っても、**経営層には耐え難いダメージ**
- **"漏れば済む"は間違い**。取るべき対策を取っていないと、多大なダメージを被る場合もあります。

リスク対応 4つのアプローチ

低減 リスクを減らす	**回避** リスクのあることをしない
転嫁 リスクを外部に押し付ける	**受容** リスクを受け入れて何もしない

- 発生頻度が少ないリスク、発生しても経営へのインパクトが小さいリスクについては、**"あえて何もしない"という選択肢もあります**。
- しかし、企業全体を見据えた経営視点が必要となり、**情報システム部門や情報セキュリティ部門では、この選択は難しいと言えます**。

情報セキュリティには経営視点が不可欠

- 経営資源には限りがあります。
- お金をかけるのかかけないのか。
- お金をかけるのであれば、どこにどれだけかけるのか。
- これは**経営層でなければ難しい判断です**。
- 情報セキュリティは、情報システム部門や情報セキュリティ部門に任せる課題ではなく、**経営層が率先して取り組むべき"経営課題"と言えます**。

サイバーセキュリティ経営ガイドライン

今、整備が求められている"CSIRT"とは？

CSIRT
Computer Security Incident Response Team

ざっくり言うと・・・

- **有事の任務**
  セキュリティ事故の火消し役。事故の原因特定、影響範囲の把握などを素早く行い、影響が拡がらないようにする。
- **平時の任務**
  セキュリティ強化策の計画立案と実行、従業員に対する教育・啓蒙など。

但し、企業や組織によって、役割は様々です。

「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」でも触れられており、こうした対応整備が求められてきています。

（参考）CSIRTの任務

[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

にしけい×DNPのセキュリティソリューション

にしけい×DNPの取り組み

2017年4月よりセキュリティ事業で協業開始

にしけい×DNPの取り組み

DNPの情報セキュリティ事業の強み

明治9年の創業以来140年間、お客様の重要情報を守り続けてきた

重要情報
- 個人情報：携帯電話ご利用明細、クレジットカードご利用明細等に印字する個人情報等
- 技術情報：フォトマスクを製造する為のCADデータ等
- 未公開情報：新券ちラシ製造に使用する写真、発刊前の雑誌で掲載の原稿等

お客様の重要情報を守るための社内体制を構築・運用

社内体制
- 物理的セキュリティ：ゾーニング、動線設計、入退室管理運用、監視カメラ運用
- 技術的セキュリティ：PCI DSSを超える基準での各種ネットワークセキュリティ
- 人的・組織的セキュリティ：ポリシー、規程、内部手順の運用、従業員教育

情報セキュリティはDNPの事業の根幹 お客様のセキュリティ強化を支援

- 自社製品：ICカード、IDカード発行管理システム、顔写真撮影システム、PKIアプレット/ドライバ、Topp等
- 自社知見：工場等のセキュリティ設計（ゾーニング、動線設計）、IDカード運用ノウハウ、PCI DSS準拠
- グループ会社製品：インテリジェント ウェイブ、シービーデザインコンサルティング、日本ユニシスグループ

と、協力会社の製品やサービスを組み合わせ、物理的セキュリティ、技術的セキュリティ、人的・組織的セキュリティのすべての領域で、ナレッジとソリューションを提供。

DNPの情報セキュリティ事業の強み

- DNPは、金券・商品券等の印刷、クレジットカードや社員証ICカードの発行事業に長年に亘り携わって参りました。ICカード製造工場の構築・各種認証の取得を通じて得た「セキュリティ技術」と「確かな運用ノウハウ」を基に展開、お客様に最適のソリューションを提案します。